

2012年3月期実績 及び2013年3月期業績予想

財務責任者
宮崎 秀樹

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

国際会計基準(IFRS)を2012年3月期から任意適用

■任意適用の目的

- ・ 資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上
- ・ 国際的な市場における資金調達手段の多様化等

■Non-GAAP指標の採用

- ・ 「調整後EBITDA¹⁾」
- ・ 「調整後EPS²⁾」

1) 調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損
±リストラクチャリングに係る収益及び費用

2) 調整後EPS＝(親会社所有者に帰属する当期利益＋のれんの減損損失
±リストラクチャリングに係る収益及び費用±法人所得税費用調整±被支
配持分額調整)÷希薄化後の期中平均株式数(自己株式を除く)

ひとの
ときを、
想う。



2012年3月期実績は日本基準、IFRSともに減収増益

【2012年3月期 全社実績(IFRS・日本基準)】

【IFRS】				【日本基準】			
(単位:億円)	2011年 3月期	2012年 3月期	増減	(単位:億円)	2011年 3月期	2012年 3月期	増減
売上収益	20,594	20,338	-1.2%	調整後売上高 ¹⁾	19,470	19,247	-1.1%
営業利益	4,013	4,592	+14.4%	営業利益	3,332	3,747	+12.4%
EBITDA ²⁾	5,193	5,780	+11.3%	EBITDA ²⁾	5,426	5,811	+7.1%
調整後EBITDA ³⁾	5,220	5,771	+10.6%	経常利益	3,131	3,627	+15.9%
				当期純利益	1,454	2,274	+56.4%
				【のれん償却影響前】			
当期利益 ⁴⁾	2,433	3,209	+31.9%	当期純利益	2,334	3,099	+32.8%
希薄化後 EPS(円)	25,407円09銭	33,687円78銭	+32.6%	EPS(円)	24,378円59銭	32,552円35銭	+33.5%
調整後EPS(円) ⁵⁾	25,903円94銭	30,530円39銭	+17.9%				

1) 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等及び海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除

2) EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費

3) 調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損
±リストラクチャリングに係る収益及び費用

4) 親会社所有者に帰属

5) 調整後EPS＝(親会社所有者に帰属する当期利益＋のれんの減損損失
±リストラクチャリングに係る収益及び費用±法人所得税費用調整±被支
配持分額調整)÷希薄化後の期中平均株式数(自己株式を除く)

ひとの
ときを、
想う。

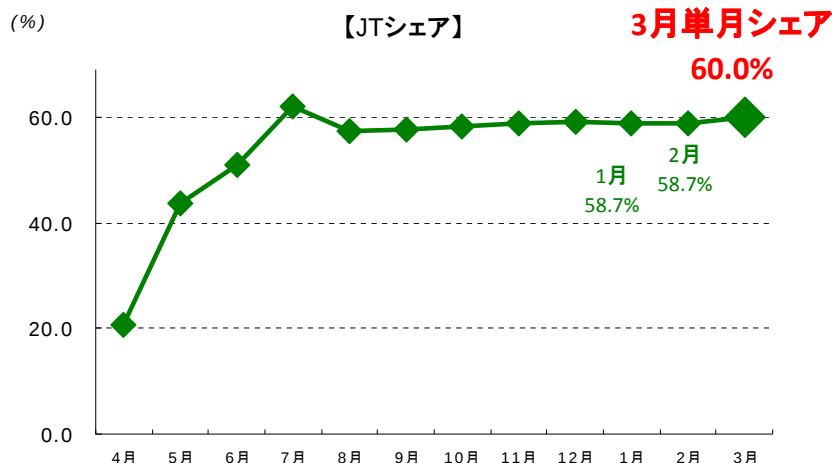


国内たばこ事業販売数量は想定どおり着地、3月単月シェアは60%達成

	2011年 3月期	2012年 3月期	増減
(単位:億本)			
販売数量 ¹⁾	1,346	1,084	-19.5%



<新製品>
マイルドセブン・
インパクトメンソール・ボックス
3月上旬発売



このスライドは投資家に事業を説明する目的で作成されたものです。
消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

5

1) 国内免税販売及び中国事業部分を含まない

ひと
の
ときを、
想う。 JT

国内たばこ事業は減収増益

【2012年3月期 国内たばこ事業実績】

	【IFRS】				【日本基準】		
	2011年 3月期	2012年 3月期	増減		2011年 3月期	2012年 3月期	増減
(単位:億円)				(単位:億円)			
自社たばこ製品 売上収益 ¹⁾	6,322	6,119	-3.2%	調整後売上高 ²⁾	6,179	5,968	-3.4%
営業利益	2,023	2,093	+3.4%	営業利益	2,129	2,296	+7.9%
EBITDA ³⁾	2,451	2,488	+1.5%	EBITDA ³⁾	2,577	2,725	+5.8%
調整後EBITDA ⁴⁾	2,472	2,623	+6.1%				

1) 国内たばこ配送手数料収入等を控除

2) 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

3) EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費

6 4) 調整後EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 + のれんの減損・リストラクチャリングに係る収益及び費用

ひと
の
ときを、
想う。 JT

海外たばこ事業はトップライン成長が牽引し、力強い成果を実現

【2012年3月期 海外たばこ事業実績】

	2010年	2011年	増減		2010年	2011年	増減
(単位:億本)				(単位:百万US\$)			
総販売数量 ¹⁾	4,284	4,257	-0.6%	調整後売上高 ²⁾	10,113	11,211	+10.9%
GFB販売数量	2,498	2,565	+2.6%	EBITDA ³⁾	3,338	3,917	+17.4%
【IFRS】				【日本基準】			
(単位:百万US\$)	2010年	2011年	増減	(単位:百万US\$)	2010年	2011年	増減
自社たばこ製品 売上収益 ²⁾	10,113	11,211	+10.9%	調整後売上高 ²⁾	10,113	10,925	+8.0%
EBITDA ³⁾	3,161	3,854	+21.9%	EBITDA ³⁾	3,338	3,861	+15.7%
調整後EBITDA ⁴⁾	3,165	3,944	+24.6%	EBITDA ³⁾	2,930	3,126	+6.7%
(単位:億円)				【為替一定ベース】			
調整後EBITDA ⁴⁾	2,779	3,148	+13.3%	調整後売上高 ²⁾	10,113	10,925	+8.0%
				EBITDA ³⁾	3,338	3,861	+15.7%
				【円ベース】			
				(単位:億円)			
				EBITDA ³⁾	2,930	3,126	+6.7%

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除

3) EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費

4) 調整後EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 + のれんの減損・リスストラッキングに係る収益及び費用

ひとの
ときを、
想う。

医薬事業は後期開発品の充実について着実な成果

■導出先における開発の状況

JTK-303: ギリアド・サイエンシズ社(米国)へ導出、同社で
配合錠として米国FDA、欧州医薬品庁等への承認申請を実施
JTT-705: ロシュ社(スイス)へ導出、同社でPhase3
MEK阻害剤: GSK社(英国)へ導出、同社でPhase3
抗ICOS抗体: メディムン社(米国)へ導出、同社でPhase1

■2012年3月期のJT臨床開発品目の進展

JTZ-951、JTE-051、JTE-052の臨床入り
JTT-851のPhase2入り

ステージアップ

新規臨床入り

臨床開発品目(2012年4月26日現在)

開発名	主な適応症	開発段階	権利
JTK-303 (経口)	HIV感染症	国内: 申請準備中 (配合錠として)	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社では申請中(配合錠として))
JTT-705 (経口)	脂質異常症	国内: Phase2	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	脂質異常症	海外: Phase2	
JTT-751 (経口)	高リン血症	国内: Phase3	米国ケリックス・バイオフィーマ・シューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入(鳥居薬品と共同開発)
JTT-851 (経口)	2型糖尿病	国内: Phase2 海外: Phase1	
JTZ-951 (経口)	腎性貧血	国内: Phase1 海外: Phase1	
JTE-051 (経口)	自己免疫・アレルギー疾患	海外: Phase1	
JTE-052 (経口)	自己免疫・アレルギー疾患	国内: Phase1	

【2012年3月期 医薬事業実績】

	2011年 3月期	2012年 3月期	増減		2011年 3月期	2012年 3月期	増減
(単位:億円)				(単位:億円)			
売上収益	441	474	+33	売上高	470	506	+37
営業利益	-133	-135	-2	営業利益	-174	-161	+13
EBITDA ¹⁾	-98	-100	-3	EBITDA ¹⁾	-133	-123	+10
調整後EBITDA ²⁾	-98	-100	-3				

1) EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費

2) 調整後EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 + のれんの減損・リスストラッキングに係る収益及び費用

ひとの
ときを、
想う。

飲料事業は、ルーツブランドの確実な強化を確認、加工食品事業においては今後の利益創出に向けた基盤整備に目処、ステープルへの注力等により収益力改善

【2012年3月期 食品事業実績】

	【IFRS】				【日本基準】		
	2011年 3月期	2012年 3月期	増減		2011年 3月期	2012年 3月期	増減
(単位:億円)				(単位:億円)			
売上収益	3,675	3,594	- 80	売上高	3,750	3,670	- 81
飲料事業	1,858	1,888	+30	飲料事業	1,924	1,963	+39
加工食品事業	1,817	1,707	- 110	加工食品事業	1,826	1,706	- 120
営業利益	-36	20	+57	のれん償却影響 を除く営業利益	2	31	+29
EBITDA ¹⁾	129	196	+67	営業利益	-94	-63	+31
調整後EBITDA ²⁾	177	200	+23	EBITDA ¹⁾	173	215	+42

1) EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費

2) 調整後EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 + のれんの減損 ± ストラクチャリングに係る収益及び費用



(このスライドは空白です)

中長期目標と
役割

- JTグループ利益成長の中核且つ牽引役として、中長期に亘って年平均mid to high single digit 成長を目指す
 - ✓国内: 高い競争優位性を保持する利益創出の中核事業
 - ✓海外: グループ利益の半分以上を創出し、且つ利益成長の牽引役でもある、もう一つの中核事業

■ 質の高いトップライン成長を最優先

- ✓主要ブランドを中心としたブランドエクイティの更なる強化
- ✓主要市場におけるシェアの維持・拡大
- ✓収益基盤の地理的拡充
- ✓新製品カテゴリーの創出

■ 事業継続力強化とサプライチェーンの最適化

国内たばこ事業業績予想

販売数量増により対前年増収増益を見込む

- 販売数量については、趨勢減影響を受けるものの、震災からの回復・シェア上昇により1,145億本、対前年61億本増を目指す
- 販売数量増影響を受け、対前年増収増益を見込む

【2013年3月期 国内たばこ事業業績予想(IFRS)】

	2012年3月期 実績	2013年3月期 見込	増減
(単位: 億本、億円)			
販売数量 ¹⁾	1,084	1,145	+5.6%
自社たばこ製品売上収益 ²⁾	6,119	6,490	+6.1%
営業利益	2,093	2,260	+8.0%
調整後EBITDA ³⁾	2,623	2,680	+2.2%



＜新製品＞
ハイライト・イナズマメンソール8・ボックス
ハイライト・イナズマメンソールワン・ボックス
5月中旬より発売予定

このスライドは投資家に事業を説明する目的で作成されたものです。消費者へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません。

1) 国内免税販売及び中国事業部分を含まない

2) 国内たばこ配送手数料収入等を控除

12 3) 調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±リストラクチャリングに係る収益及び費用

海外たばこ事業業績予想 為替一定ベース調整後EBITDA10%成長を見込む

【2013年3月期 海外たばこ事業業績予想(IFRS)】

	2011年 実績	2012年 見込	対実績 増減率
(単位:億本、百万US\$)			
総販売数量 ¹⁾	4,257	4,300	+1.0%
GFB販売数量	2,565	2,640	+2.9%
【為替一定ベース】			
自社たばこ製品売上収益 ²⁾	11,211	11,950	+6.6%
調整後EBITDA ³⁾	3,944	4,340	+10.0%
【財務報告ベース】			
自社たばこ製品売上収益 ²⁾	11,211	11,620	+3.6%
調整後EBITDA ³⁾	3,944	4,180	+6.0%
(単位:億円)			
自社たばこ製品売上収益 ²⁾	8,946	9,300	+4.0%
調整後EBITDA ³⁾	3,148	3,340	+6.1%

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除、従前の調整後売上高から名称変更

3) 調整後EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費 + のれんの減損 ± リストラクチャリングに係る収益及び費用

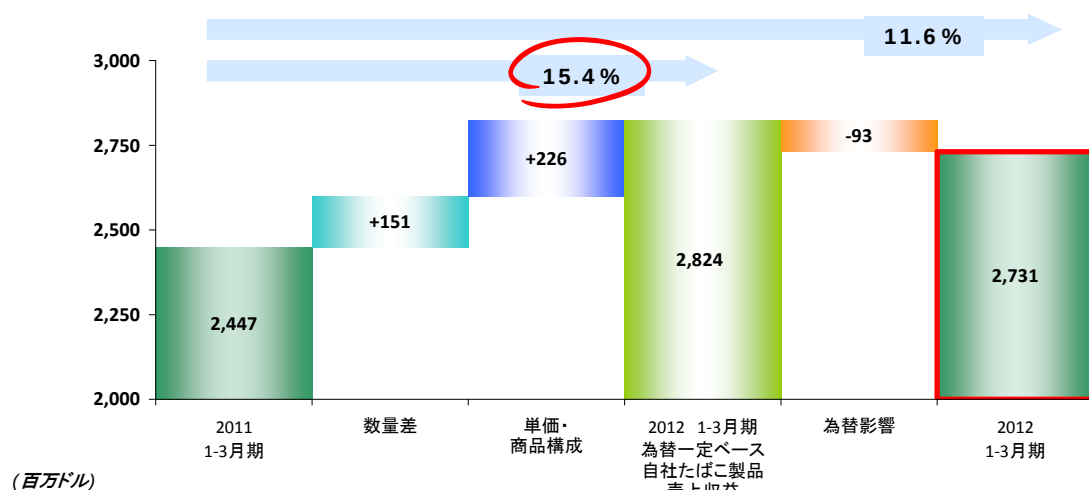
ひとの
ときを、
想う。 JT

海外たばこ事業速報 1-3月期は力強いトップライン成長を実現

【2012年1-3月期 海外たばこ事業速報】

	2011年 1-3月実績	2012年 1-3月実績	増減
(単位:億本、百万US\$)			
総販売数量 ¹⁾	945	989	+4.7%
GFB販売数量	558	611	+9.5%

【自社たばこ製品売上収益²⁾Roadmap: 2011年1-3月期⇒ 2012年 1-3月期】



1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業、製造受託等を控除、従前の調整後売上高から名称変更

14

ひとの
ときを、
想う。 JT

中長期目標と
役割

■ 後期開発品の迅速かつ円滑な上市による収益基盤の確立を目指す

■ 後期開発品の迅速かつ円滑な上市

■ 次世代戦略品の研究開発推進

医薬事業業績予想

【2013年3月期 医薬事業業績予想(IFRS)】

	<u>2012年3月期</u>	<u>2013年3月期</u>	
(単位:億円)	実績	見込	増減
売上収益	474	505	+31
営業利益	-135	-195	- 60
調整後EBITDA ¹⁾	-100	-160	- 60

1) 調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±リストラチャリングに係る収益及び費用

中長期目標と役割

- 不断の改善とそれを基盤とした利益創出力の強化に努め、グループへの利益貢献を目指す
 - ✓ 飲料事業：ルーツを中心としたブランド力・販売力の強化
 - ✓ 加工食品事業：中期的に少なくとも業界平均並みの営業利益率の確保を目指す

■ 質の高いトップライン成長に向けて

- ✓ 飲料事業：ルーツブランドを中心としたブランド育成・強化
- ✓ 加工食品事業：注力分野であるステープル商品の商品力・販売力強化

■ コスト競争力強化に向けて

- ✓ 原材料調達コストの抑制
- ✓ 効果・効率的な経費執行

食品事業業績予想

【2013年3月期 食品事業業績予想(IFRS)】

	2012年3月期	2013年3月期	
(単位:億円)	実績	見込	増減
売上収益	3,594	3,675	+81
営業利益	20	25	+5
調整後EBITDA ¹⁾	200	210	+10

1) 調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用

全社業績予想 為替一定ベース調整後EBITDA5.2%成長を見込む

【2013年3月期 全社業績予想(IFRS)】

(単位:億円)	2012年3月期 実績	2013年3月期 見込	増減
売上収益	20,338	21,200	+4.2%
営業利益	4,592	4,830	+5.2%
当期利益 ¹⁾	3,209	3,180	-0.9%
調整後EBITDA ²⁾	5,771	5,950	+3.1%
【為替一定ベース】			
調整後EBITDA ²⁾	5,771	6,070	+5.2%

- 2012年3月期:調整後当期利益³⁾ 2,908億円
調整後EPS⁴⁾ 30,530円39銭
(2013年3月期の為替一定ベース調整後EPS成長率の基点)
- 為替一定ベース調整後EPS成長は、中長期にわたって年平均high single digit成長を目指す

¹⁾ 親会社所有者に帰属

²⁾ 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費+のれんの減損
±リストラクチャリングに係る収益及び費用

³⁾ 調整後当期利益=親会社所有者に帰属する当期利益+のれんの減損損失±リストラクチャリング
に係る収益及び費用±法人所得税費用調整±被支配分額調整

⁴⁾ 調整後EPS=(親会社所有者に帰属する当期利益+のれんの減損損失
±リストラクチャリングに係る収益及び費用±法人所得税費用調整±被支配分額調整)/希薄化後の期中平均株式数(自己株式を除く)

ひとの
ときを、
想う。 JT

終わりに

- 2013年3月期為替一定ベース調整後EBITDA5.2%成長の達成を目指す
- 2013年3月期配当性向35.9%を見込む

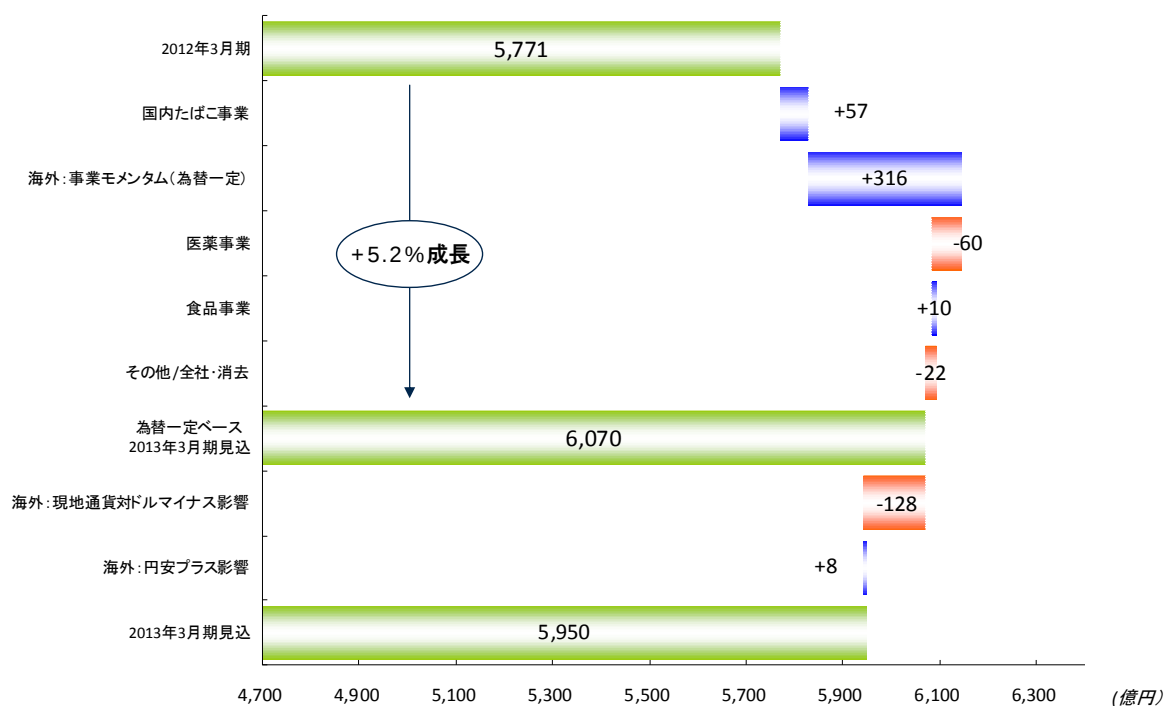
All the Detailed figures comes to <Back up data>

<Back up data No.1> Non-GAAP指標 用語説明

- 日本基準の調整後売上高とIFRS移行後の自社たばこ製品売上収益の違い
 - ・ 国内たばこ事業
調整後売上高：国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除
自社たばこ製品売上収益：国内たばこ配送手数料収入等を控除
 - ・ 海外たばこ事業
調整後売上高：海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除
自社たばこ製品売上収益：同上
- 日本基準のEBITDAとIFRS移行後の調整後EBITDAの違い
 - ・ 日本基準のEBITDA＝日本基準による営業利益に、日本基準による減価償却費、無形固定資産・長期前払費用及びのれんの償却費を調整したもの
 - ・ IFRSによる営業利益は、日本基準による営業利益に対して、各種認識及び測定の差異の調整に加え、金融損益以外の非経常的な損益（日本基準における営業外損益や特別損益）を加味したものとなる
 - ・ 調整後EBITDA＝IFRSによる営業利益に、IFRSによる減価償却費、無形資産の償却費、のれんの減損、リストラクチャリングに係る収益及び費用を調整したもの

<Back up data No.2> 2013年3月期業績予想

【全社調整後EBITDA¹⁾ 2012年3月期実績対2013年3月期業績予想増減内訳】



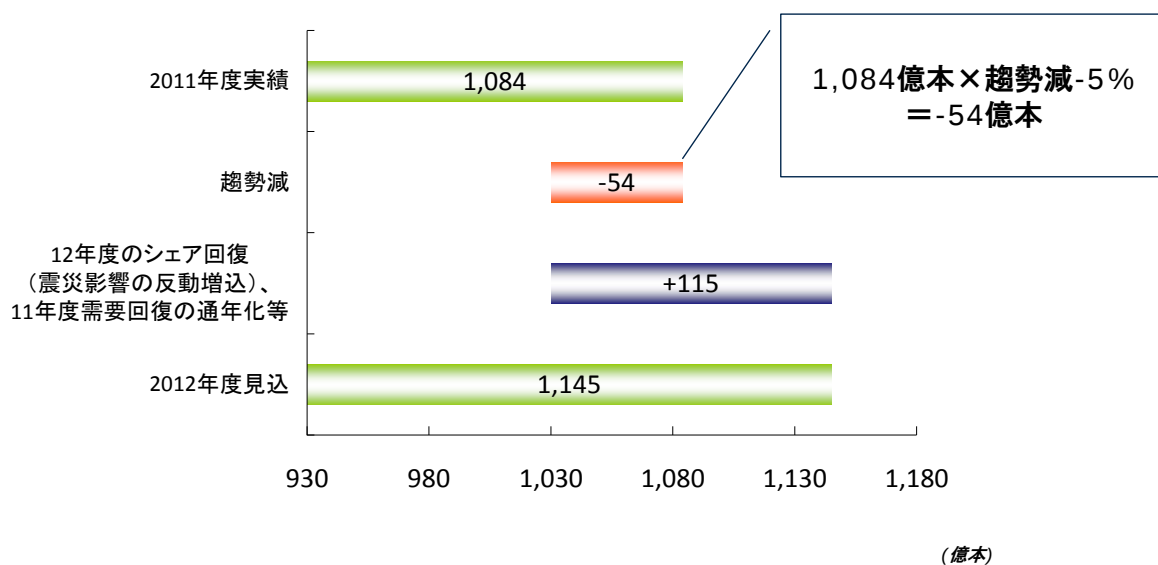
1) 調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用

23

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back up data No.3> 2013年3月期国内たばこ事業業績予想

【国内たばこ事業販売数量見込¹⁾】



1) 国内免税販売及び中国事業部分を含まない

24

ひとの
ときを、
想う。 JT
12

【販売数量対前年同期成長率】

	総販売数量 ¹⁾	GFB販売数量
計	+4.7%	+9.5%
South & West Europe	+13.0%	+14.0%
North & Central Europe	+7.0%	+13.4%
CIS+	+0.7%	+13.9%
Rest-of-the-World	+5.7%	-0.8%

1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

【増税・値上情報】

	増税	値上げ
Italy	11年9月 ⁱ⁾	11年7月、9月 12年3月
France	-	11年10月
Spain	2012年3月	11年6月-9月に 一時的に値下げ 12年4月
UK	11年1月 ⁱ⁾ 、3月 12年3月	11年1月、3月、9月 12年3月
Russia	11年1月 12年1月	11年6月 11年12月
Turkey	11年10月	11年10月
Taiwan	11年9月 ⁱ⁾	11年3月-4月、9月 ⁱⁱ⁾

i) VAT課税率の引上げ
ii) 各月一部銘柄

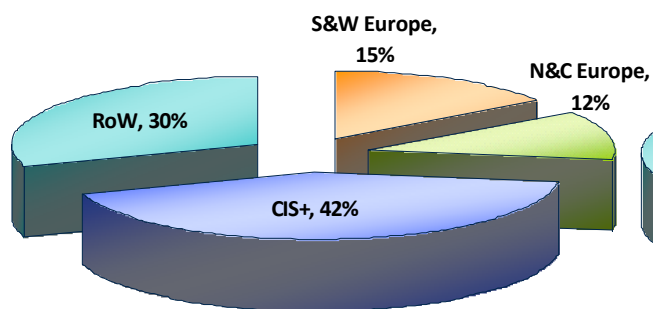
【GFB Volume】

(単位:億本)	2011年 1-3月期	2012年 1-3月期	増減
GFB販売数量	558	611	+9.5%
Winston	280	313	+12.0%
Camel	90	96	+6.8%
Mild Seven	51	45	-12.0%
B&H	25	26	+3.9%
Silk Cut	10	9	-8.6%
LD	78	98	+25.3%
Sobranie	2	3	+54.4%
Glamour	22	20	-6.4%

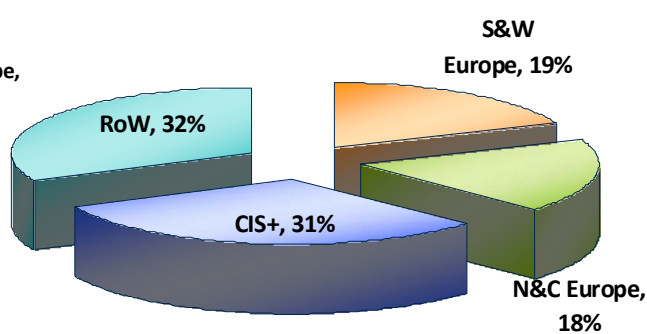


【4地域別構成比】

販売数量¹⁾



自社たばこ製品売上収益²⁾



1) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2) 物流事業/製造受託/その他を控除、従前の調整後売上高から名称変更

【主要市場におけるシェア（12ヶ月平均）】

	<u>2011年3月</u>	<u>2012年3月</u>	<u>増減</u>
Italy	20.0%	21.0%	+1.0ppt
France	16.1%	16.6%	+0.5ppt
Spain	20.7%	21.6%	+1.0ppt
UK	39.0%	38.7%	-0.3ppt
Russia	37.0%	36.8%※	-0.3ppt
(GFB)	19.5%	21.1%※	+1.6ppt
Turkey	23.1%	24.7%	+1.6ppt
Taiwan	38.6%	37.9%	-0.7ppt

出典:AC Nielsen、Logista、Altadis及びJT 推定

※2012年2月時点12ヶ月平均データ

29



【主要市場におけるシェア（3ヶ月平均）】

	<u>2011年 1-3月</u>	<u>2011年 4-6月</u>	<u>2011年 7-9月</u>	<u>2011年 10-12月</u>	<u>2012年 1-3月</u>
Italy	20.4%	20.6%	20.8%	21.0%	21.8%
France	16.2%	16.2%	16.6%	16.5%	17.2%
Spain	20.3%	20.6%	21.7%	21.8%	22.6%
UK	39.0%	38.9%	38.8%	38.5%	38.6%
Russia	37.1%	37.2%	37.0%	36.2%	36.4%※
(GFB)	20.1%	20.6%	21.2%	21.4%	21.7%※
Turkey	23.2%	23.9%	24.2%	25.0%	25.9%
Taiwan	39.3%	37.7%	38.2%	37.7%	38.0%

出典:AC Nielsen、Logista、Altadis及びJT 推定

※2012年1-2月2ヶ月平均データ

30



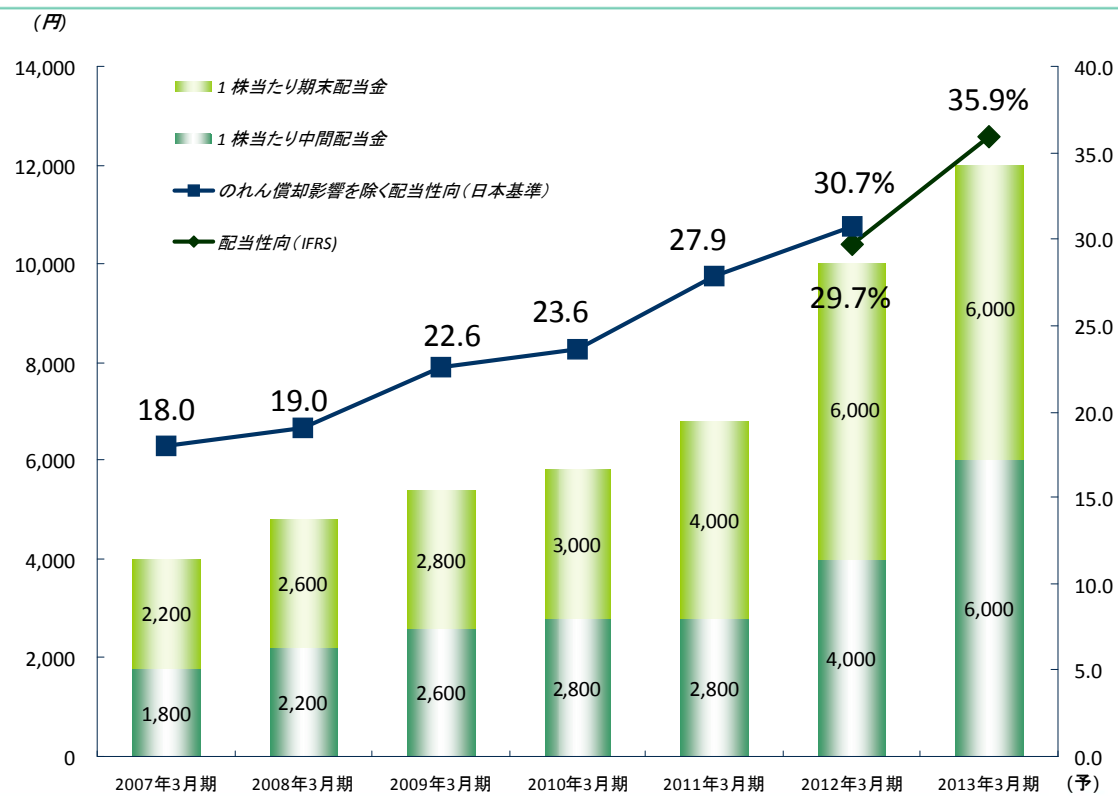
【前提為替レート】

	<u>2011年</u> <u>実績</u>	<u>2012年</u> <u>見込</u>	(参考) <u>2012年</u> <u>1-3月実績</u>	(参考)2012年 <u>4月20日</u> <u>スポット</u> <u>レート</u>
RUB/\$	29.40	30.00	30.15	29.44
GBP/\$	0.63	0.63	0.64	0.62
EUR/\$	0.72	0.75	0.76	0.76
CHF/\$	0.89	0.90	0.92	0.91
TWD/\$	29.44	29.50	29.71	29.50
円ドル	79.80	80.00	79.35	81.58

【為替レート】

	<u>2011年</u> <u>1-3月</u>	<u>2012年</u> <u>1-3月</u>	<u>増減率</u>
RUB/\$	29.30	30.15	-2.8%
GBP/\$	0.63	0.64	-0.6%
EUR/\$	0.75	0.76	-2.0%
CHF/\$	0.96	0.92	+4.3%
TWD/\$	29.51	29.71	-0.7%
円ドル	82.31	79.35	+3.7%

<Back up data No.12> 配当



2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う予定だが、分割影響を考慮しない数値を掲載

33

ひとの
ときを、
想う。 JT

【参考資料】

2012年3月期 実績 および 2013年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

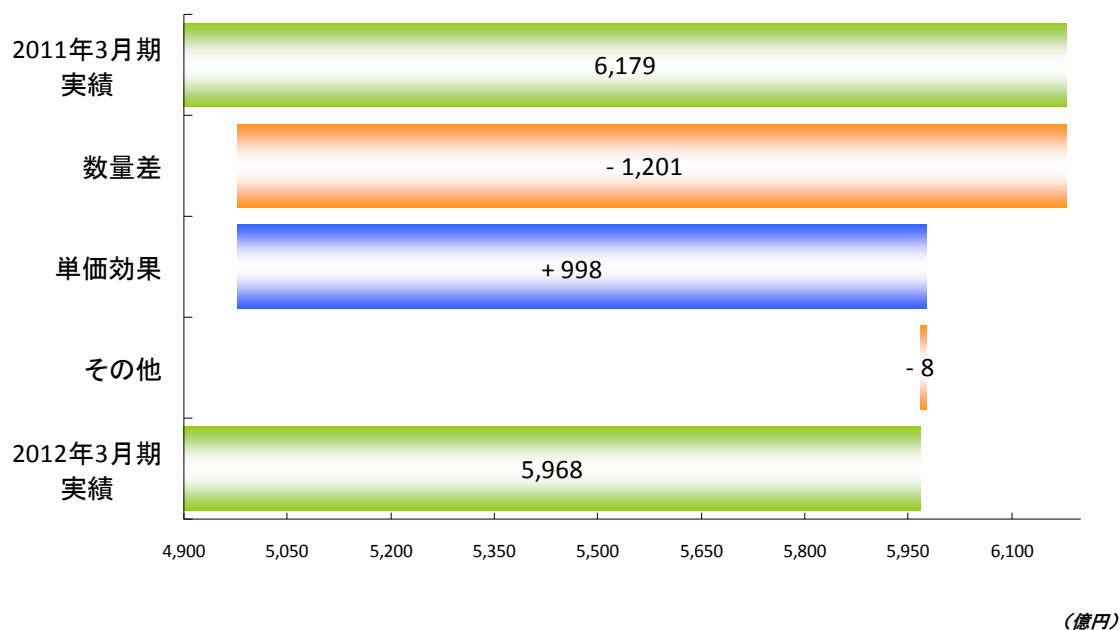
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のよう な事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2012年3月期 実績(日本基準)

□ 国内たばこ事業 調整後売上高¹⁾



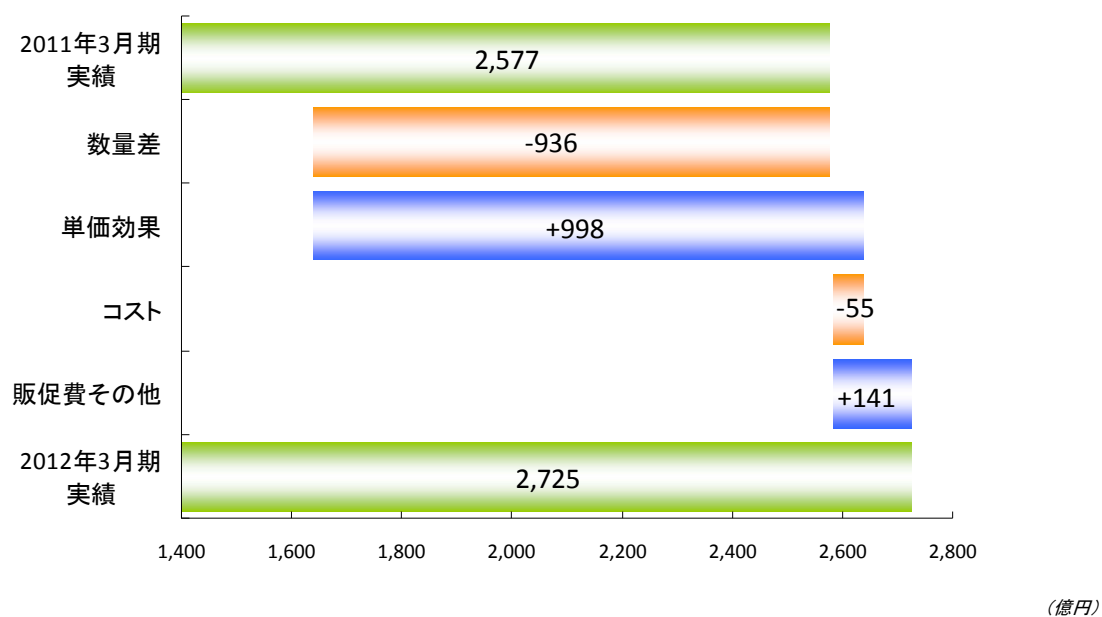
1) 輸入たばこ、国内免税、中国事業等を控除

3



2012年3月期 実績(日本基準)

□ 国内たばこ事業 EBITDA¹⁾



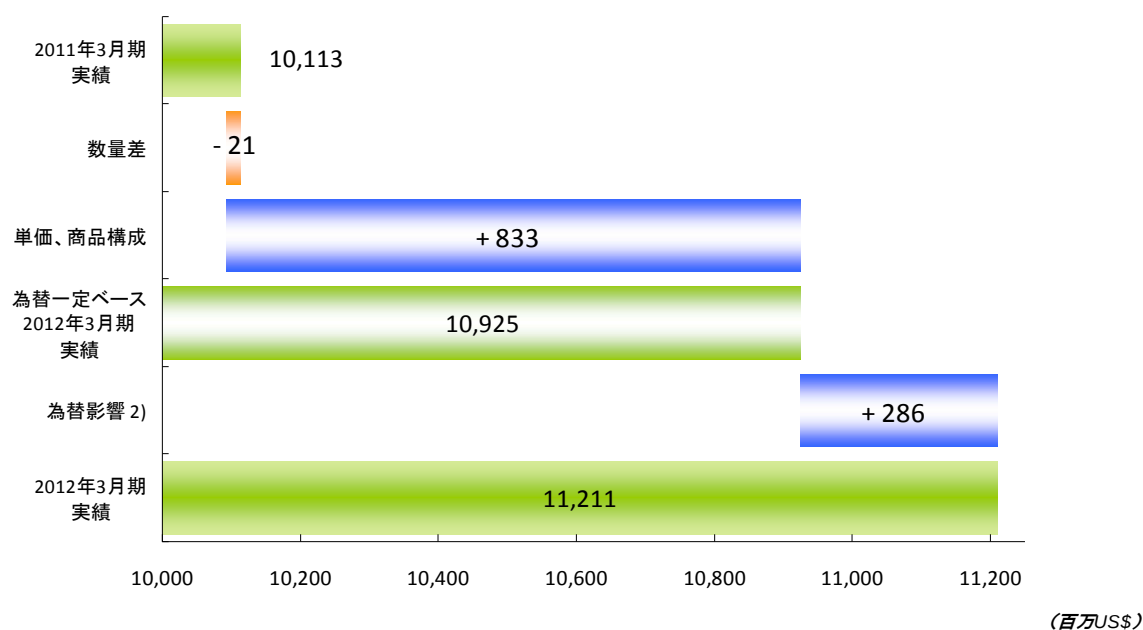
1) EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費

4



2012年3月期 実績(日本基準)

□ 海外たばこ事業 調整後売上高¹⁾



1) 物流事業、製造受託等を控除

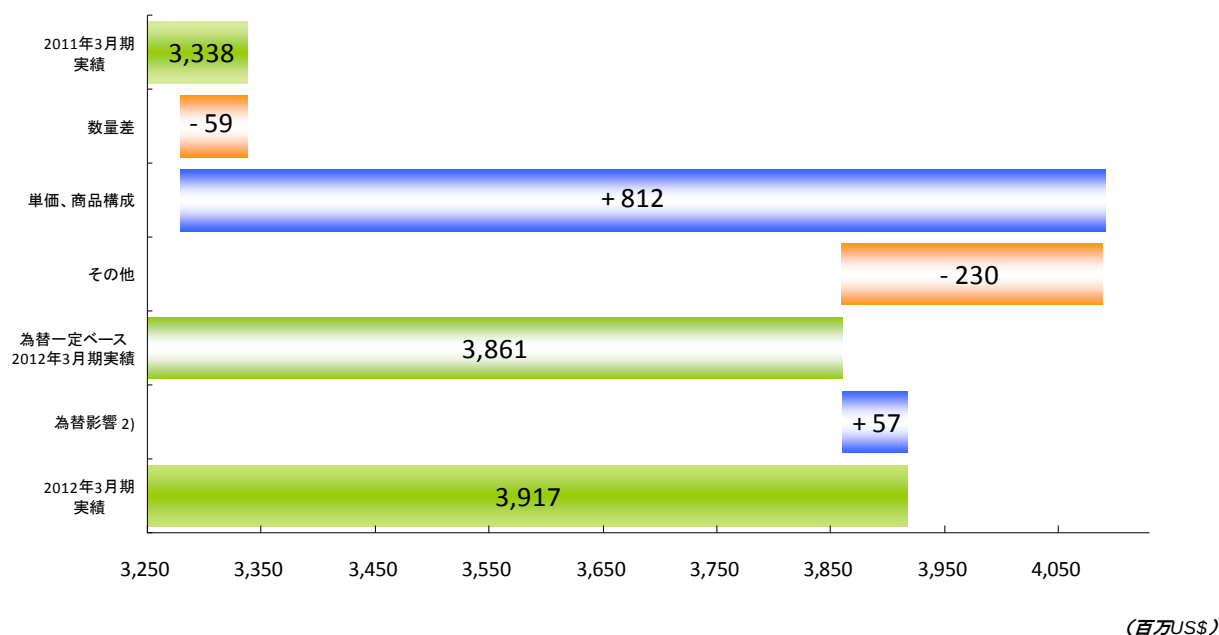
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

5



2012年3月期 実績(日本基準)

□ 海外たばこ事業 EBITDA¹⁾



1) EBITDA = 営業利益 + 有形固定資産の減価償却費 + 無形資産の償却費

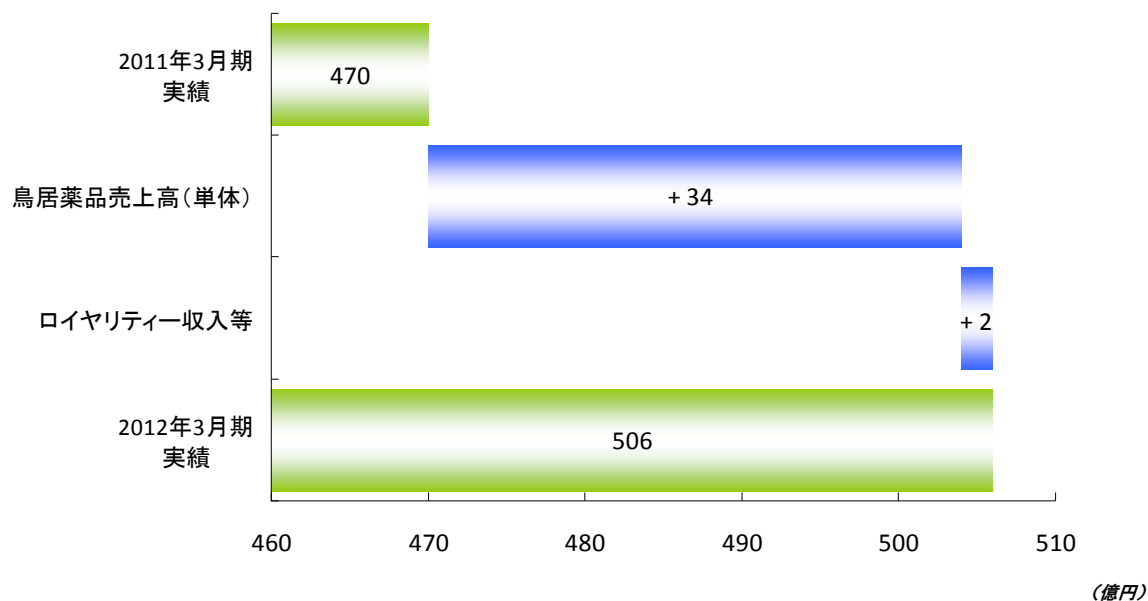
2) USドルと各現地通貨との間の為替影響

6



2012年3月期 実績(日本基準)

□ 医薬事業 売上高

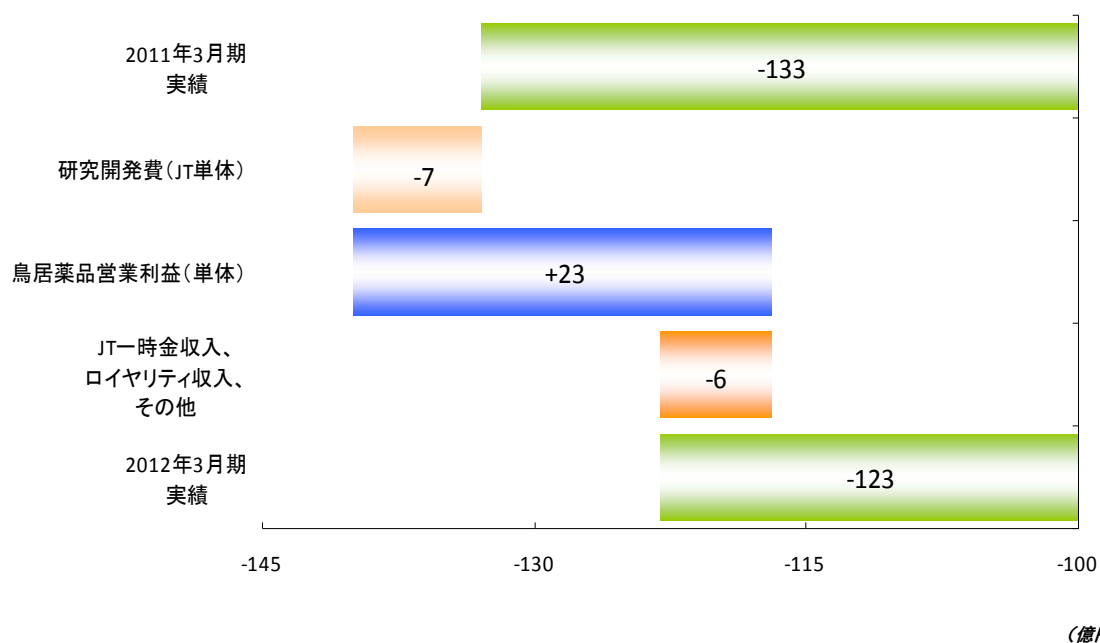


7

ひとの
ときを、
想う。 JT

2012年3月期 実績(日本基準)

□ 医薬事業 EBITDA¹⁾



(億円)

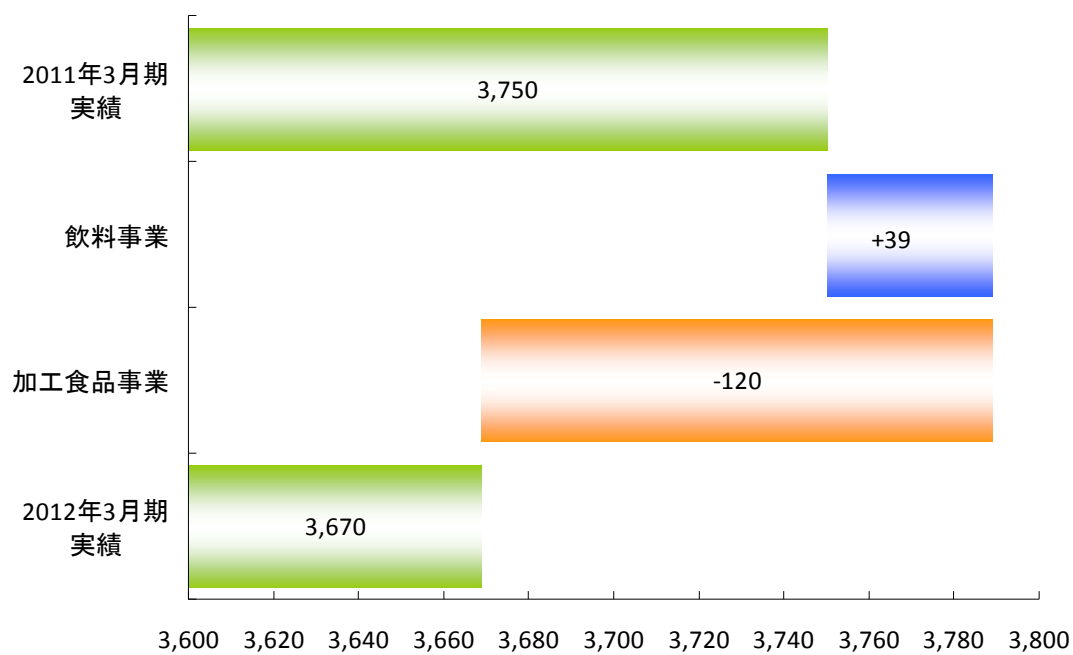
1) EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費

8

ひとの
ときを、
想う。 JT

2012年3月期 実績(日本基準)

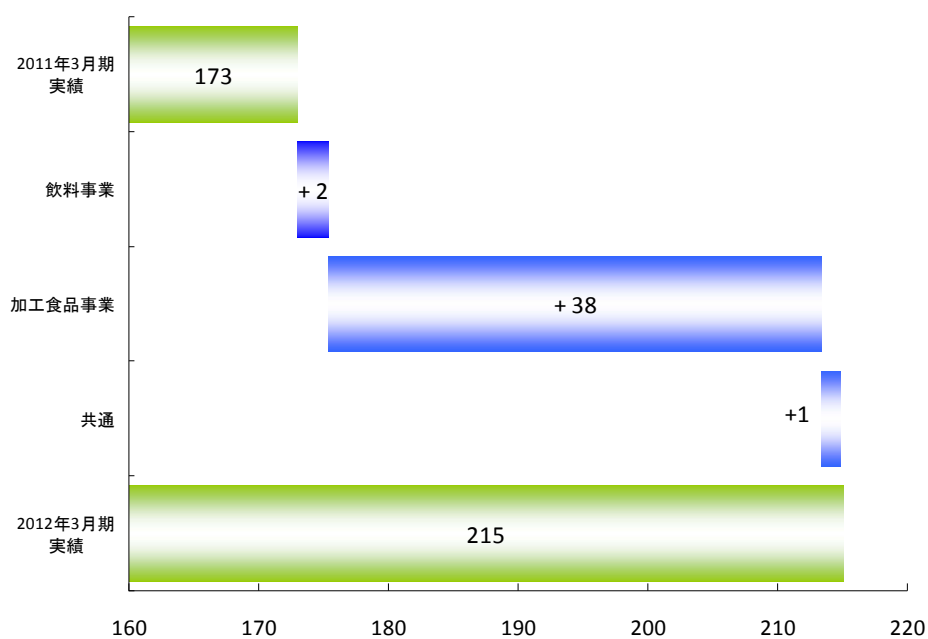
□ 食品事業 売上高



(億円)

2012年3月期 実績(日本基準)

□ 食品事業 EBITDA¹⁾

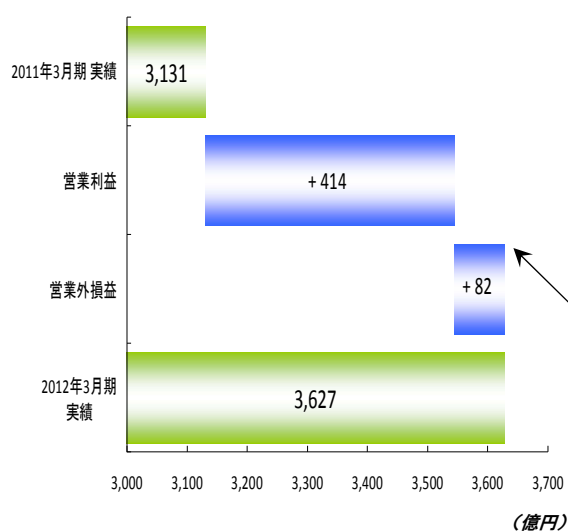


(億円)

1) EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費

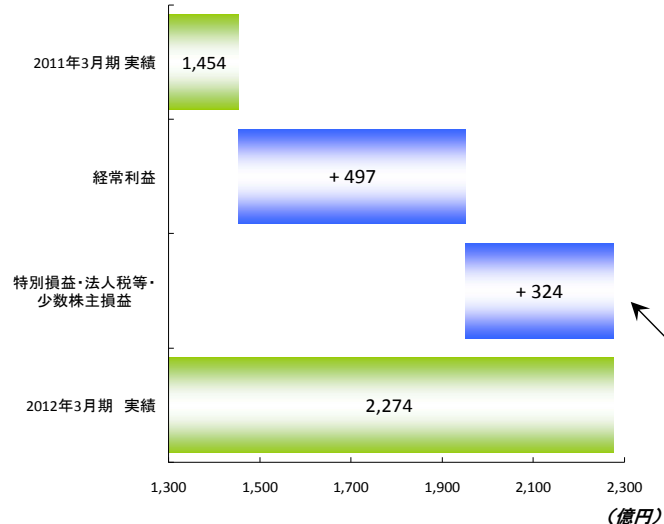
2012年3月期 実績(日本基準)

□ 経常利益



改善要因: 有利子負債減少による支払利息の減等

□ 当期純利益



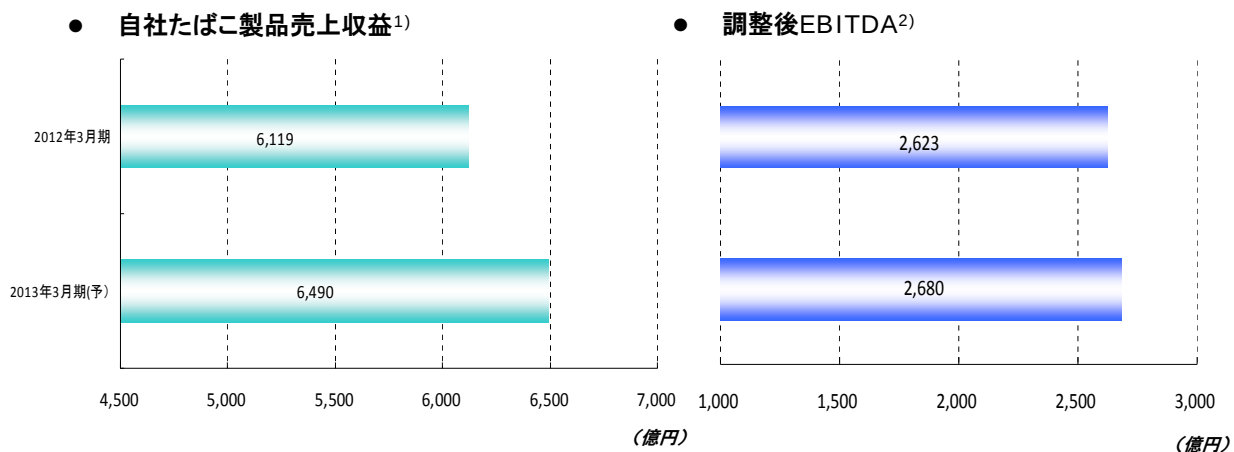
改善要因: 固定資産除売却益の増加
前年のカナダ行政法規違反過料計上:128億円
震災保険金収入

悪化要因: 葉たばこ廃作協力金
事業構造強化費用(Hainburg工場閉鎖等)の増加
東日本大震災による損失

(このスライドは空白です)

2013年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 国内たばこ事業 自社たばこ製品売上収益¹⁾/調整後EBITDA²⁾



【主な増加要因】

- 震災影響からの回復による
JT販売数量の増:
1,084億本⇒1,145億本

【主な増加要因】

- 震災影響からの回復による
JT販売数量の増:
1,084億本⇒1,145億本

1) 国内たばこ配送手数料収入等を控除

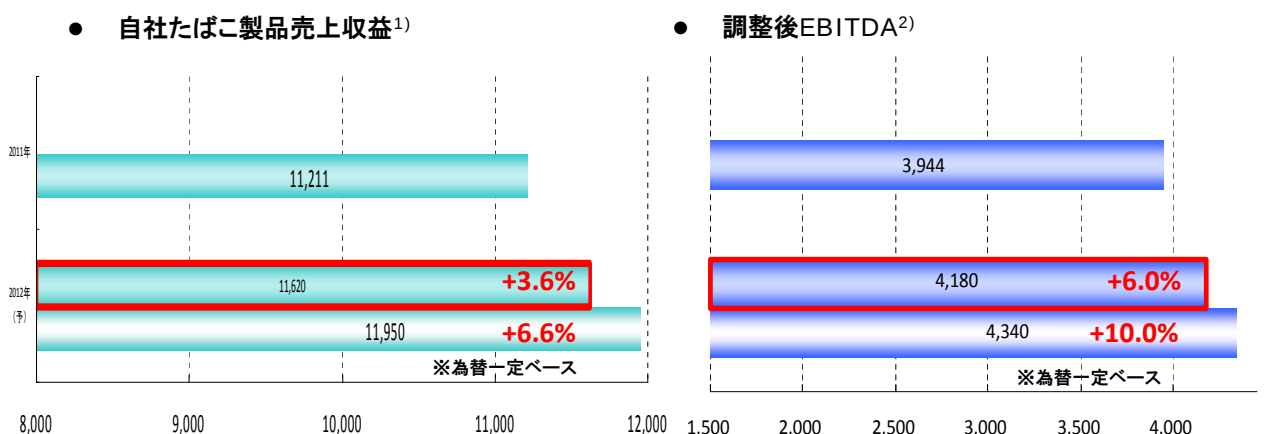
2) 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費+のれんの減損+リストラチャリング収益及び費用

13



2013年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 海外たばこ事業 自社たばこ製品売上収益¹⁾(\$ベース)/調整後EBITDA²⁾(\$ベース)



【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果

【主な増加要因】

- 単価/ミックス効果

【主な減少要因】

- 数量影響
- 為替影響(現地通貨対ドル)

【主な減少要因】

- 数量影響
- 為替影響(現地通貨対ドル)

1) 物流事業、製造受託等を控除 従前の調整後売上高から名称変更

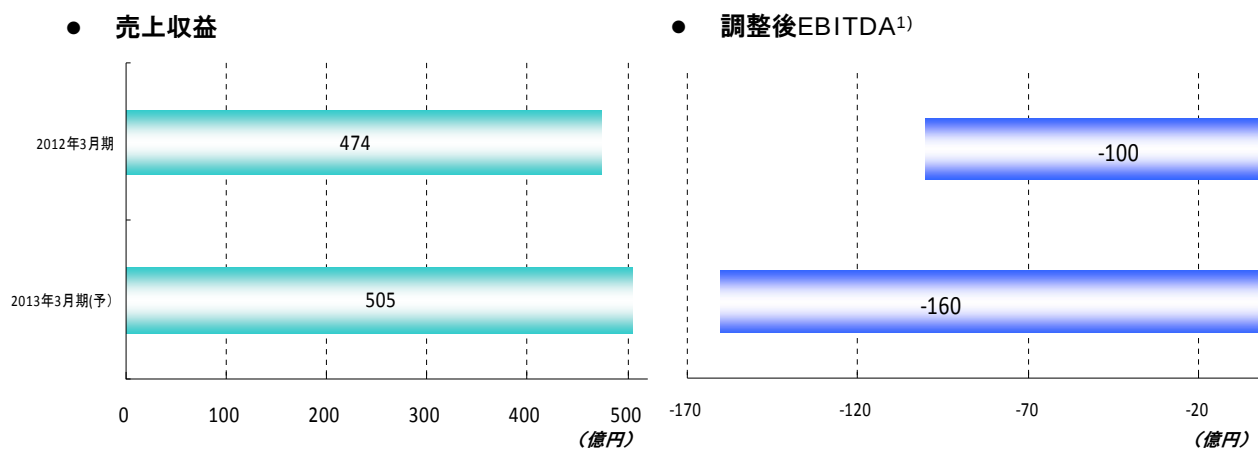
2) 調整後EBITDA=営業利益+有形固定資産の減価償却費+無形資産の償却費+のれんの減損+リストラチャリング収益及び費用

14



2013年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 医薬事業 売上収益/調整後EBITDA¹⁾



【主な増加要因】

- 鳥居薬品の増収

【主な増加要因】

- 鳥居薬品の増収効果

【主な減少要因】

- 研究開発費の増加

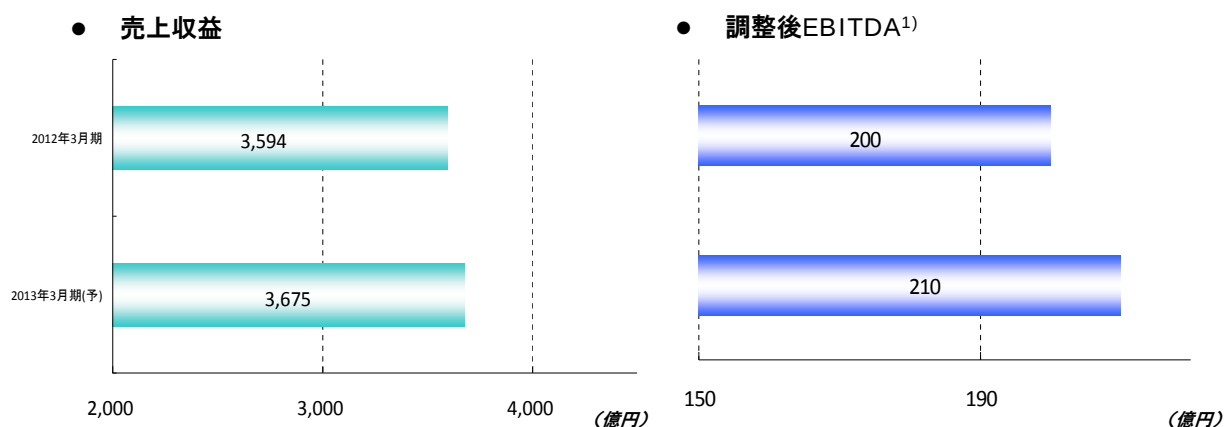
¹⁾調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費
＋のれんの減損±リストラチャリング収益及び費用

15



2013年3月期 業績予想_対前年度実績(IFRS)

□ 食品事業 売上収益/調整後EBITDA¹⁾



【主な増加要因】

- 飲料事業における基幹ブランド「ルーツ」への注力
- 加工食品事業におけるステープル(主食)の伸長

【主な増加要因】

- 加工食品事業において引き続き利益率の高いステープルへの集中による収益力強化

【主な減少要因】

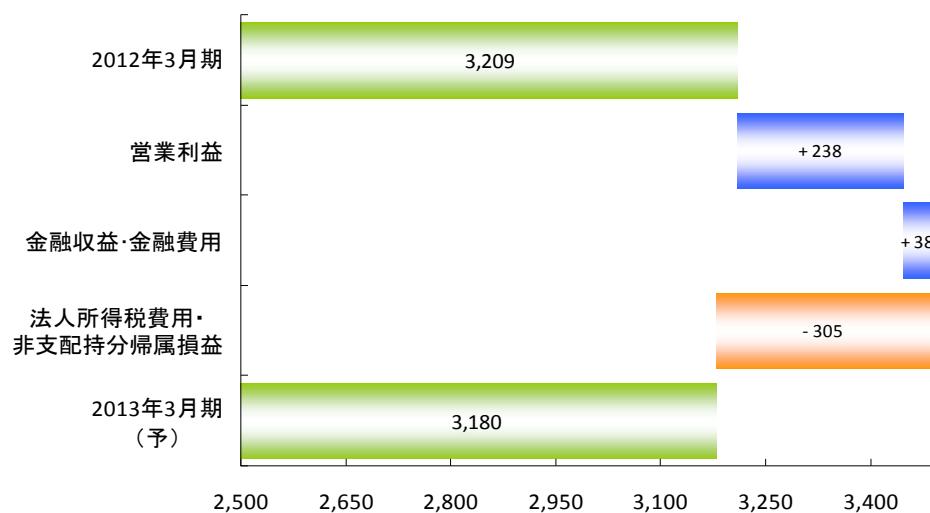
- 飲料事業における営業力強化に向けた費用の増加

¹⁾調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費
＋のれんの減損±リストラチャリング収益及び費用

16



□ 親会社の所有者に帰属する当期利益



(億円)

(このスライドは空白です)

2012年3月期実績（IFRS）

1.業績ハイライト

(単位:億円、%)				
	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上収益	20,594	20,338	-255	- 1.2%
営業利益	4,013	4,592	+579	+14.4%
税引前利益	3,852	4,414	+561	+14.6%
当期利益	2,487	3,286	+798	+32.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,433	3,209	+776	+31.9%
基本的1株当たり利益(円) ^(注1)	25,414.33	33,700.97	+8,286.64	+32.6%
希薄化後1株当たり利益(円) ^(注1)	25,407.09	33,687.78	+8,280.69	+32.6%
調整後EBITDA ^(注2)	5,220	5,771	+551	+10.6%
調整後当期利益 ^(注3)	2,481	2,908	+427	+17.2%
調整後希薄化後1株当たり利益(円) ^(注4)	25,903.94	30,530.39	+4,626.45	+17.9%
1株当たり配当金(円)	6,800	10,000	+3,200	+47.1%
連結配当性向 ^(注5)	26.8%	29.7%	+2.9%pt	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE) ^(注6)	15.3%	20.3%	+5.0%pt	-

(注1):親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定

(注2):調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用

(注3):調整後当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用等±法人所得税費用調整±被支配持分額調整

(注4):調整後当期利益を基に算定

(注5):連結配当性向＝1株当たり配当金／基本的1株当たり利益

(注6):親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)＝親会社の所有者に帰属する当期利益と、親会社の所有者に帰属する資本を基に算出

2.売上収益の内訳

(単位:億円)				
	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上収益	20,594	20,338	-255	- 1.2%
国内たばこ事業	6,658	6,462	-196	- 2.9%
自社たばこ製品売上収益 ^(注1)	6,322	6,119	-202	- 3.2%
海外たばこ事業 ^(注2)	9,635	9,663	+27	+0.3%
自社たばこ製品売上収益 ^(注3)	8,878	8,946	+68	+0.8%
医薬事業	441	474	+33	+7.5%
食品事業	3,675	3,594	-80	- 2.2%
飲料事業	1,858	1,888	+30	+1.6%
加工食品事業	1,817	1,707	-110	- 6.1%
その他の売上収益	185	146	-39	- 21.2%

(参考 ドルベース)

(単位:百万ドル)				
	10年12月期	11年12月期	増減	増減率
海外たばこ事業				
自社製品売上収益 ^{(注2)(注3)}	10,113	11,211	+1,098	+10.9%

(注1):国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収入等を控除

(注2):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注3):海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除した実績

3.事業セグメント別調整後EBITDA^(注1)

(単位:億円)				
	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
全社 営業利益	4,013	4,592	+579	+14.4%
調整合計 ^(注3)	1,207	1,180	-28	- 2.3%
全社 調整後EBITDA ^(注1)	5,220	5,771	+551	+10.6%
国内たばこ 営業利益	2,023	2,093	+69	+3.4%
調整合計 ^(注3)	448	530	+82	+18.2%
国内たばこ 調整後EBITDA ^(注1)	2,472	2,623	+151	+6.1%
海外たばこ 営業利益 ^(注2)	2,259	2,524	+265	+11.7%
調整合計 ^(注3)	520	624	+104	+19.9%
海外たばこ 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	2,779	3,148	+369	+13.3%
医薬 営業利益	-133	-135	-2	-
調整合計 ^(注3)	35	35	-1	- 2.2%
医薬 調整後EBITDA ^(注1)	-98	-100	-3	-
食品 営業利益	-36	20	+57	-
調整合計 ^(注3)	214	180	-34	- 15.9%
食品 調整後EBITDA ^(注1)	177	200	+23	+12.8%
その他/消去 営業利益	-99	90	+190	-
調整合計 ^(注3)	-11	-189	-178	-
その他/消去 調整後EBITDA ^(注1)	-110	-98	+12	-

(参考 ドルベース)

(単位:百万ドル)				
	10年12月期	11年12月期	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	3,165	3,944	+779	+24.6%

(注1):調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用

(注2):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注3):減価償却費及び償却費、のれんの減損、ストラクチャリングに係る収益及び費用

4.連結財政状態データ

(単位:億円)			
	開始BS	11年3月末	12年3月末
資産合計	39,111	36,552	36,670
資本合計	17,277	16,013	17,146
親会社の所有者に帰属する持分	16,547	15,251	16,341
1株あたり親会社所有者帰属持分(円)	172,720.90	160,179.52	171,617.35

5.手元流動性^(注)

(単位:億円)			
	開始BS	11年3月末	12年3月末
手元流動性	1,674	2,766	4,312

(注):手元流動性＝現預金＋短期保有の有価証券＋現金

6.有利子負債^(注)

(単位:億円)			
	開始BS	11年3月末	12年3月末
有利子負債	8,754	7,091	5,024

(注):有利子負債＝短期借入金＋社債＋長期借入金＋リース債務＋コマーシャルペーパー

7.連結キャッシュ・フローデータ

(単位:億円、%)				
	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
営業キャッシュ・フロー	4,068	5,516	+1,447	+35.6%
投資キャッシュ・フロー	-1,260	-1,038	+222	-
財務キャッシュ・フロー	-1,854	-2,791	-937	-
現金及び現金同等物の期首残高	1,544	2,442	+899	+58.2%
現金及び現金同等物に係る換算差額等	-56	-82	-26	-
現金及び現金同等物の期末残高	2,442	4,047	+1,605	+65.7%
FCF ^(注4)	3,004	4,513	+1,509	+50.3%

(注4):FCF＝営業活動キャッシュ・フロー＋投資活動キャッシュ・フロー ただし以下の項目を除除
営業活動キャッシュ・フローから受取配当金/受取利息とその税影響額/支払利息とその税影響額
投資活動キャッシュ・フローから有価証券取得による支出/有価証券売却による収入/投資有価証券取得による支出/投資有価証券売却による収入/その他

8.資本的支出

(単位:億円、%)				
	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
資本的支出	1,484	1,190	-294	-19.8%
国内たばこ事業	554	562	+8	+1.4%
海外たばこ事業 ^(注)	609	391	-218	-35.7%
医薬事業	62	39	-23	-37.1%
食品事業	250	154	-95	-38.2%
その他/全社/消去	9	43	+34	+369.8%

(注):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

9.主な事業関連計数

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
【国内たばこ事業】				
JT販売数量 ^(注)	1,346	1,084	-262	- 19.5%
国内総需要	2,102	1,975	-127	- 6.0%
JT販売数量シェア	64.1%	54.9%	-9.2%pt	-
JT千本当売上収益	4,582	5,502	+920	+20.1%

(注):JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2011年3月期36億本、2012年3月期37億本。

	10年12月期	11年12月期	増減	増減率
【海外たばこ事業】				
販売数量 ^(注)	4,284	4,257	-27	- 0.6%
GFB販売数量	2,498	2,565	+66	+2.6%
円/USドルレート	87.79	79.80	-7.99	10.0%高
RUB/USドルレート	30.36	29.40	-0.96	3.3%高
GBP/USドルレート	0.65	0.63	-0.02	3.1%高
EUR/USドルレート	0.75	0.72	-0.02	3.5%高
CHF/USドルレート	1.05	0.89	-0.16	17.5%高
TWD/USドルレート	31.73	29.44	-2.29	7.8%高

(注):製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
【医薬事業】				
研究開発費(単体)	217	223	+7	+3.0%

	11年3月期	12年3月期	増減
【食品事業－飲料事業】			
自動販売機台数 ^(注)	265,000	265,000	-0
うちマーキング機	33,000	35,000	+2,000
うちコンビ機	83,000	84,000	+1,000

(注):自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱いながら、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

東日本大震災の被災により、被災エリアの2011年3月末の自動販売機台数は被災前の設置確認台数を集計。

10.従業員数^(注)

(単位:人)			
	11年3月期	12年3月期	増減
従業員数(連結)	48,472	48,529	+57
国内たばこ事業	11,191	11,092	-99
海外たばこ事業	23,902	24,237	+335
医薬事業	1,664	1,693	+29
食品事業	10,864	10,646	-218
その他事業/ 全社共通業務	851	861	+10
従業員数(単体)	8,928	8,936	+8

(注):従業員数は就業人員ベース

2012年3月期実績（IFRS）

11.P/L 内訳表

（単位：億円、％）

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上収益	20,594	20,338	-255	- 1.2%
国内たばこ事業	6,658	6,462	-196	- 2.9%
自社たばこ製品売上収益 ^(注2)	6,322	6,119	-202	- 3.2%
海外たばこ事業 ^(注1)	9,635	9,663	+27	+0.3%
自社たばこ製品売上収益 ^{(注1)(注3)}	8,878	8,946	+68	+0.8%
医薬事業	441	474	+33	+7.5%
食品事業	3,675	3,594	-80	- 2.2%
飲料事業	1,858	1,888	+30	+1.6%
加工食品事業	1,817	1,707	-110	- 6.1%
その他の売上収益	185	146	-39	- 21.2%
売上原価	9,539	8,920	-618	- 6.5%
売上総利益	11,055	11,418	+363	+3.3%
その他の営業収益	206	485	+279	+135.1%
固定資産及び投資不動産の売却益	121	301	+180	+148.0%
その他	85	184	+99	+116.7%
持分法による投資利益	23	20	-3	- 12.1%
販売費及び一般管理費等	7,271	7,332	+60	+0.8%
広告宣伝費	214	215	+2	+0.8%
販売促進費	1,315	1,280	-34	- 2.6%
運賃保管費	280	279	-1	- 0.4%
委託手数料	422	410	-13	- 3.0%
従業員給付費用	2,312	2,351	+38	+1.7%
研究開発費	489	515	+26	+5.3%
減価償却費及び償却費	617	585	-31	- 5.1%
減損損失	62	70	+8	+13.5%
カナダにおける行政法規違反過料	128	—	-128	-
有形固定資産、無形資産及び投資不動産の除売却損	100	115	+14	+14.1%
葉たばこ農家に対する廃作協力金	—	125	+125	-
その他	1,332	1,387	+55	+4.1%
営業利益	4,013	4,592	+579	+14.4%
減価償却費及び償却費	1,180	1,188	+9	+0.8%
のれんの減損損失	1	—	-1	-
リストラクチャリングに係る収益	-113	-299	-187	-
リストラクチャリングに係る費用	139	290	+151	+108.6%
全社 調整後EBITDA ^(注4)	5,220	5,771	+551	+10.6%
国内たばこ 営業利益	2,023	2,093	+69	+3.4%
減価償却費及び償却費	428	396	-32	- 7.5%
のれんの減損損失	—	—	—	-
リストラクチャリングに係る収益	—	—	—	-
リストラクチャリングに係る費用	20	134	+114	+556.1%
国内たばこ 調整後EBITDA ^(注4)	2,472	2,623	+151	+6.1%
海外たばこ 営業利益 ^(注1)	2,259	2,524	+265	+11.7%
減価償却費及び償却費	516	552	+36	+7.0%
のれんの減損損失	—	—	—	-
リストラクチャリング収益	-2	-6	-4	-
リストラクチャリング費用	6	77	+72	+1237.5%
海外たばこ 調整後EBITDA ^{(注1)(注4)}	2,779	3,148	+369	+13.3%
医薬 営業利益	-133	-135	-2	-
減価償却費及び償却費	35	35	-1	- 2.2%
のれんの減損損失	—	—	—	-
リストラクチャリング収益	—	—	—	-
リストラクチャリング費用	—	—	—	-
医薬 調整後EBITDA ^(注4)	-98	-100	-3	-
食品 営業利益	-36	20	+57	-
減価償却費及び償却費	165	175	+10	+6.3%
のれんの減損損失	1	—	-1	-
リストラクチャリング収益	-29	—	+29	-
リストラクチャリング費用	77	4	-73	- 94.4%
食品 調整後EBITDA ^(注4)	177	200	+23	+12.8%
その他/消去 営業利益	-99	90	+190	-
減価償却費及び償却費	35	31	-4	- 12.6%
のれんの減損損失	—	—	—	-
リストラクチャリング収益	-81	-294	-212	-
リストラクチャリング費用	36	74	+39	+107.7%
その他/消去 調整後EBITDA ^(注4)	-110	-98	+12	-

（単位：億円、％）

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
金融収益	99	56	-43	- 43.2%
配当収入	15	13	-2	- 14.5%
利息収入	22	24	+2	+8.8%
有価証券売却益	—	—	—	-
為替差益	8	—	-8	-
その他	54	20	-34	- 63.8%
金融費用	259	234	-25	- 9.7%
利息費用	171	144	-27	- 15.9%
有価証券売却損	—	—	—	-
有価証券評価損	—	—	—	-
退職給付費用	54	55	+1	+1.6%
為替差損	—	27	+27	-
その他	34	8	-26	- 76.9%
税引前利益	3,852	4,414	+561	+14.6%
法人所得税費用	1,365	1,128	-237	- 17.4%
当期利益	2,487	3,286	+798	+32.1%
親会社の所有者	2,433	3,209	+776	+31.9%
非支配持分	54	77	+23	+41.6%

（注1）：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

（注2）：国内たばこ事業の輸入たばこ配送手数料収入等を控除

（注3）：海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除した実績

（注4）：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±リストラクチャリングに係る収益及び費用

12.B/S 内訳表

(単位: 億円)

	開始BS	11年3月末	12年3月末
流動資産	11,645	12,589	13,310
現金及び現金同等物	1,544	2,442	4,047
現金及び預金	1,476	1,048	1,088
短期投資	68	1,394	2,959
営業債権及びその他の債権	3,081	3,112	3,278
受取手形及び売掛金	2,963	3,014	3,118
その他	150	122	177
貸倒引当金	-32	-24	-17
棚卸資産	5,319	4,886	4,466
商品及び製品	1,320	1,085	1,125
葉たばこ	3,592	3,432	2,948
その他	408	369	393
その他の金融資産※3	216	373	274
その他の流動資産	1,471	1,379	1,232
前払たばこ税	984	915	873
前払費用	111	101	107
未収消費税等	107	108	67
その他	268	255	185
売却目的で保有する非流動資産	14	396	14
非流動資産	27,467	23,963	23,360
有形固定資産	6,486	6,393	6,195
取得原価	15,198	14,895	14,510
減価償却累計額及び減損損失累計額	-8,712	-8,502	-8,314
土地、建物及び構築物	3,160	3,042	2,934
取得原価	6,348	6,174	5,940
減価償却累計額及び減損損失累計額	-3,188	-3,132	-3,005
機械装置及び運搬具	2,331	2,521	2,392
取得原価	6,714	6,904	6,706
減価償却累計額及び減損損失累計額	-4,383	-4,383	-4,314
工具、器具及び備品	576	539	558
取得原価	1,717	1,526	1,552
減価償却累計額及び減損損失累計額	-1,141	-987	-995
建設仮勘定	419	291	311
取得原価	419	291	311
減価償却累計額及び減損損失累計額	0	-	-
のれん※1	13,881	11,761	11,100
取得原価	13,881	11,762	11,100
償却累計額及び減損損失累計額	-	-1	-
無形資産	3,947	3,302	3,064
取得原価	8,957	8,486	8,480
償却累計額及び減損損失累計額	-5,010	-5,184	-5,415
商標権※2	3,511	2,866	2,573
取得原価	7,326	6,791	6,639
償却累計額及び減損損失累計額	-3,815	-3,925	-4,065
ソフトウェア	213	188	178
取得原価	930	941	973
償却累計額及び減損損失累計額	-717	-753	-796
その他	223	247	313
取得原価	700	754	868
償却累計額及び減損損失累計額	-478	-507	-555
投資不動産	811	365	674
退職給付に係る資産	52	68	144
持分法で会計処理されている投資	233	191	184
その他の金融資産※3	835	627	675
繰延税金資産	1,221	1,257	1,322
資産合計	39,111	36,552	36,670

※3 その他の金融資産(流動・非流動の計)	1,051	1,000	949
デリバティブ資産	90	68	19
株式	511	334	391
債券	80	243	88
定期預金	79	120	243
その他	642	474	349
貸倒引当金	-351	-240	-141

※1 のれん 海外たばこ資金生成単位	13,456	11,336	10,675
のれん 加工食品資金生成単位	254	254	254

※2 商標権 海外たばこ事業	3,487	2,837	2,545
----------------	-------	-------	-------

	開始BS	11年3月末	12年3月末
流動負債	11,083	10,775	11,575
営業債務及びその他の債務	3,019	3,118	2,987
支払手形及び買掛金	1,495	1,708	1,654
未払金	737	671	717
その他	787	738	615
社債及び借入金※4	3,017	2,180	2,118
未払法人所得税等	541	657	425
その他の金融負債※4	132	84	80
引当金	39	42	57
その他の流動負債※5	4,335	4,631	5,907
売却目的で保有する非流動資産に直接関連する負債	-	63	1
非流動負債	10,752	9,764	7,949
社債及び借入金※4	5,586	4,782	2,797
その他の金融負債※4	293	148	210
退職給付に係る負債	2,850	3,119	3,150
引当金	56	45	44
その他の非流動負債※5	980	941	922
繰延税金負債	987	729	825
負債合計	21,834	20,539	19,524
資本	17,277	16,013	17,146
資本金	1,000	1,000	1,000
資本剰余金	7,364	7,364	7,364
自己株式	-746	-946	-946
その他の資本の構成要素	126	-2,507	-3,764
利益剰余金	8,802	10,341	12,686
非支配持分	730	762	806
負債及び資本合計	39,111	36,552	36,670

※4 社債及び借入金(その他の金融負債含む) (流動・非流動の計)	9,028	7,195	5,205
デリバティブ負債	70	29	51
短期借入金	1,093	701	435
コマーシャル・ペーパー	1,190	-	-
1年内返済予定の長期借入金	230	215	782
1年内償還予定の社債	504	1,265	901
長期借入金	1,496	1,524	493
社債	4,090	3,257	2,305
その他	356	204	239

※5 その他の負債(流動・非流動の計)	5,314	5,572	6,830
未払たばこ税	2,121	2,022	2,405
未払たばこ税特別税	105	82	151
未払地方たばこ税	852	1,022	1,914
未払消費税等	597	698	832
従業員賞与	373	352	397
従業員有給休暇債務	196	186	186
その他	1,070	1,210	945

2013年3月期業績予想（IFRS）

1.業績ハイライト

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
売上収益	20,338	21,200	+862	+4.2%
営業利益	4,592	4,830	+238	+5.2%
税引前利益	4,414	4,690	+276	+6.3%
当期利益	3,286	3,240	-46	-1.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,209	3,180	-29	-0.9%
基本的1株当たり利益(円) ^{(注1)(注6)}	33,700.97	33,398.19	-302.78	-0.9%
調整後EBITDA ^(注2)	5,771	5,950	+179	+3.1%
1株当たり配当金(円) ^(注6)	10,000	12,000	+2,000	+20.0%
連結配当性向 ^(注3)	29.7%	35.9%	+6.2%pt	
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE) ^(注4)	20.3%	18.2%	-2.1%pt	

(参考)

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
全社 為替一定ベース 調整後EBITDA ^(注5)	5,771	6,070	+299	+5.2%

(注1)：親会社の所有者に帰属する当期利益を基に算定。

(注2)：調整後EBITDA＝営業利益＋有形固定資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用

(注3)：連結配当性向＝1株当たり配当金／基本的1株当たり利益

(注4)：親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)＝親会社の所有者に帰属する当期利益と、親会社の所有者に帰属する資本を基に算出

(注5)：12年3月期は実績値、13年3月期予想は海外たばこ事業について12年3月期と同じ現地通貨及び円の為替レートを適用した場合の全社調整後EBITDA

(注6)：2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う予定だが、この表では分割影響を考慮しない数値を掲載

2.売上収益の内訳

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
売上収益	20,338	21,200	+862	+4.2%
国内たばこ事業	6,462	6,820	+358	+5.5%
自社たばこ製品売上収益 ^(注1)	6,119	6,490	+371	+6.1%
海外たばこ事業 ^(注2)	9,663	10,070	+407	+4.2%
自社たばこ製品売上収益 ^(注3)	8,946	9,300	+354	+4.0%
医薬事業	474	505	+31	+6.5%
食品事業	3,594	3,675	+81	+2.2%
その他の売上収益	146	130	-16	-10.7%

(参考 ドルベース)

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
海外たばこ事業				
自社たばこ製品売上収益 ^{(注2)(注3)}	11,211	11,620	+409	+3.6%
海外たばこ事業 為替一定ベース 自社たばこ製品売上収益 ^{(注2)(注3)(注4)}	11,211	11,950	+739	+6.6%

(注1)：国内たばこ事業の国内たばこ配送手数料収入等を控除

(注2)：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注3)：海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除

(注4)：12年3月期は実績値、13年3月期予想は12年3月期と同じ現地通貨の為替レートを適用した場合の海外たばこ事業自社たばこ製品売上収益

3.事業セグメント別調整後EBITDA^(注1)

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
全社 営業利益	4,592	4,830	+238	+5.2%
国内たばこ 営業利益	2,093	2,260	+167	+8.0%
海外たばこ 営業利益 ^(注2)	2,524	2,810	+286	+11.4%
医薬 営業利益	-135	-195	-60	-
食品 営業利益	20	25	+5	+23.5%
その他/消去 営業利益	90	-70	-160	-
全社 調整後EBITDA ^(注1)	5,771	5,950	+179	+3.1%
国内たばこ 調整後EBITDA ^(注1)	2,623	2,680	+57	+2.2%
海外たばこ 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	3,148	3,340	+192	+6.1%
医薬 調整後EBITDA ^(注1)	-100	-160	-60	-
食品 調整後EBITDA ^(注1)	200	210	+10	+5.1%
その他/消去 調整後EBITDA ^(注1)	-98	-120	-22	-

(参考 ドルベース)

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
海外たばこ事業 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)}	3,944	4,180	+236	+6.0%
海外たばこ事業 為替一定ベース 調整後EBITDA ^{(注1)(注2)(注3)}	3,944	4,340	+396	+10.0%

(注1)：調整後EBITDA＝営業利益＋有形資産の減価償却費＋無形資産の償却費＋のれんの減損±ストラクチャリングに係る収益及び費用

(注2)：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注3)：12年3月期は実績値、13年3月期予想は12年3月期と同じ現地通貨の為替レートを適用した場合の海外たばこ事業調整後EBITDA

4.連結キャッシュ・フローデータ

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
FCF(億円) ^(注)	4,513	3,000	-1,513	-33.5%

(注)：FCF＝営業活動キャッシュフロー＋投資活動キャッシュフロー ただし以下の項目を除く
営業活動キャッシュフローから受取配当金/受取利息とその税影響額/支払利息とその税影響額
投資活動キャッシュフローから有価証券取得による支出/有価証券売却による収入/投資有価証券取得による支出/
投資有価証券売却による収入/その他

5.資本的支出

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
資本的支出	1,190	1,690	+500	+42.0%
国内たばこ事業	562	850	+288	+51.2%
海外たばこ事業 ^(注)	391	500	+109	+27.7%
医薬事業	39	50	+11	+28.3%
食品事業	154	200	+46	+29.8%
その他/全社・消去	43	90	+47	+108.3%

(注)：海外たばこ事業は、1-12月期の実績

6.業績予想の主な前提条件

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
国内たばこ事業				
JT販売数量 ^(注)	1,084	1,145	+61	+5.6%

(注)：JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。

	12年3月期 実績	13年3月期 予想	増減	増減率
海外たばこ事業				
販売数量 ^(注)	4,257	4,300	+43	+1.0%
GFB販売数量	2,565	2,640	+75	+2.9%
円/USDレート	79.80	80.00	+0.20	0.3%安
RUB/USDレート	29.40	30.00	+0.60	2.0%安
GBP/USDレート	0.63	0.63	+0.00	0.7%安
EUR/USDレート	0.72	0.75	+0.03	3.6%安
CHF/USDレート	0.89	0.90	+0.01	0.9%安
TWD/USDレート	29.44	29.50	+0.06	0.2%安

(注) 製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

2012年3月期実績（日本基準）

・日本の会計基準を採用しています。2012年3月期の日本基準データは非監査情報です。

・海外たばこ事業については、2011年3月期は米国会計基準を、2012年3月期はIFRSを採用した上で、日本基準へ必要なコンパージョンを行い開示しています。変更に関し、過年度遡及修正により、2011年3月期の実績について遡及修正した数値を新ベースとして掲載しています。

・海外たばこ事業については、会計期間が1-12月であるため、1-12月期実績を掲載しています。

1.業績ハイライト (単位:億円、%)					
	11年3月期 (旧ベース)	11年3月期 (新ベース)	12年3月期	増減	増減率
売上高	24,862	24,326	25,471	+1,144	+4.7%
調整後売上高 ^(注)	19,566	19,470	19,247	-223	-1.1%
EBITDA	5,411	5,426	5,811	+385	+7.1%
営業利益	3,287	3,332	3,747	+414	+12.4%
経常利益	3,125	3,131	3,627	+497	+15.9%
当期純利益	1,450	1,454	2,274	+820	+56.4%
(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業等および海外たばこ事業における物流事業、製造受託等を控除					
FCF	2,997	2,997	4,524	+1,526	+50.9%
(参考: のれんの償却影響を除く主要利益) (単位: 億円、%)					
営業利益	4,198	4,213	4,572	+359	+8.5%
経常利益	4,036	4,011	4,453	+442	+11.0%
当期純利益	2,361	2,334	3,099	+765	+32.8%

2.売上高の内訳 (単位: 億円、%)					
	11年3月期 (旧ベース)	11年3月期 (新ベース)	12年3月期	増減	増減率
全社売上高	24,862	24,326	25,471	+1,144	+4.7%
国内たばこ事業	10,279	10,279	11,475	+1,197	+11.6%
海外たばこ事業	10,170	9,635	9,663	+27	+0.3%
調整後全社売上高 ^(注1/注2)	19,566	19,470	19,247	-223	-1.1%
国内たばこ事業 ^(注1)	6,179	6,179	5,968	-211	-3.4%
海外たばこ事業 ^(注2)	8,975	8,878	8,946	+68	+0.8%
医薬事業	470	470	506	+37	+7.8%
食品事業	3,750	3,750	3,670	-81	-2.1%
飲料事業	1,924	1,924	1,963	+39	+2.0%
加工食品事業	1,826	1,826	1,706	-120	-6.6%
その他の売上高	192	192	157	-36	-18.5%
(参考: 海外たばこ事業 ドルベース 調整後売上高 ^(注2)) (単位: 百万ドル、%)					
調整後売上高	10,223	10,113	11,211	+1,098	+10.9%
為替一定ベース	10,223	10,113	10,925	+812	+8.0%
(注1): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国事業等を除いた実績					
(注2): 海外たばこ事業の物流事業、製造受託等を控除した実績					

3.販売費及び一般管理費の内訳 (単位: 億円、%)					
	11年3月期 (旧ベース)	11年3月期 (新ベース)	12年3月期	増減	増減率
販売費及び一般管理費	7,918	7,883	7,862	-21	-0.3%
人件費 ^(注)	2,174	2,171	2,226	+55	+2.5%
広告宣伝費	209	209	204	-5	-2.2%
販売促進費	1,408	1,408	1,412	+4	+0.3%
研究開発費	534	533	536	+3	+0.6%
減価償却費	609	609	565	-44	-7.2%
その他	2,985	2,954	2,919	-35	-1.2%
(注): 人件費＝報酬・給料手当＋退職給付費用＋法定福利費＋従業員賞与＋賞与引当金繰入額					

4.事業セグメント別EBITDA ^(注1) (単位: 億円、%)					
	11年3月期 (旧ベース)	11年3月期 (新ベース)	12年3月期	増減	増減率
全社EBITDA	5,411	5,426	5,811	+385	+7.1%
営業利益	3,287	3,332	3,747	+414	+12.4%
減価償却費 ^(注2)	2,124	2,094	2,064	-29	-1.4%
国内たばこ事業EBITDA	2,577	2,577	2,725	+149	+5.8%
営業利益	2,129	2,129	2,296	+167	+7.9%
減価償却費 ^(注2)	448	448	429	-19	-4.2%
海外たばこ事業EBITDA	2,882	2,930	3,126	+196	+6.7%
営業利益	1,561	1,641	1,853	+213	+13.0%
減価償却費 ^(注2)	1,320	1,290	1,273	-17	-1.3%
医薬事業EBITDA	-133	-133	-123	+10	-
営業利益	-174	-174	-161	+13	-
減価償却費 ^(注2)	41	41	38	-3	-8.3%
食品事業EBITDA	173	173	215	+42	+24.4%
営業利益	-94	-94	-63	+31	-
減価償却費 ^(注2)	267	267	278	+11	+4.1%
その他/全社・消去EBITDA	-88	-121	-133	-11	-
営業利益	-135	-169	-179	-10	-
減価償却費 ^(注2)	48	48	46	-2	-3.5%
(参考: 海外たばこ事業 ドルベース EBITDA ^(注2)) (単位: 百万ドル、%)					
EBITDA	3,282	3,338	3,917	+580	+17.4%
為替一定ベース	3,282	3,338	3,861	+523	+15.7%
(注1): EBITDA＝営業利益＋減価償却費 ^(注2)					
(注2): 減価償却費＝有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費					

5.主要投資案件の諸償却費 (単位: 百万ドル)			
海外たばこ事業	10年12月期	11年12月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	881	903	20年
(注): 旧RJRI、旧Gallaher、その他を含む のれん償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月			
(単位: 億円)			
食品事業	11年3月期	12年3月期	償却年数
テーブルマーク(旧加ト吉)関連	92	92	5年
(注): のれん償却終了は、'12年12月			
商標権償却費 (単位: 百万ドル)			
海外たばこ事業	10年12月期	11年12月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	242	258	主に20年
(注): 商標権償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月			

6.資本的支出 (単位: 億円、%)				
	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
資本的支出	1,460	1,195	-265	-18.2%
国内たばこ事業	560	572	+12	+2.2%
海外たばこ事業 ^(注)	609	391	-218	-35.7%
医薬事業	29	29	+0	+1.6%
食品事業	250	155	-95	-38.0%
その他/全社・消去	12	47	+35	+280.8%

7.手元流動性 ^(注) (単位: 億円)			
	11年3月末	12年3月末	増減
手元流動性	2,766	4,312	+1,547
(注): 手元流動性＝現預金＋有価証券＋現金			

8.有利子負債 ^(注)			
	11年3月末	12年3月末	増減
有利子負債	7,087	5,052	-2,036

9.主な事業関連計数 (単位: 億円)				
【医薬事業】	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
研究開発費(単体)	217	223	+7	+3.0%

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関連係数

1. 四半期別販売数量 (単位:億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	390	395	388	343	1,518
2010年度	359	506	203	277	1,346
2011年度	184	324	299	275	1,084

2. 四半期別定価代金 (単位:億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5,817	5,891	5,785	5,123	22,617
2010年度	5,354	7,531	4,133	5,669	22,689
2011年度	3,736	6,625	6,100	5,603	22,065

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当税売上高 (単位:円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4,056	4,055	4,057	4,058	4,056
2010年度	4,054	4,052	5,539	5,533	4,582
2011年度	5,444	5,516	5,509	5,515	5,502

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
 千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税)
 - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } ÷ 販売数量 × 1,000

4. 四半期別シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	65.1	64.8	65.0	64.8	64.9
2010年度	64.5	65.1	62.7	62.6	64.1
2011年度	40.8	59.3	58.7	59.2	54.9

伸張セグメントシェア

1. 四半期別タール1mgセグメントシェア

①JT タール1mg製品市場シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	14.9	14.8	15.2	15.6	15.1
2010年度	15.7	15.2	15.2	15.4	15.4
2011年度	9.8	14.1	14.1	14.3	13.2

②1mg市場シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.5	24.1
2010年度	24.7	23.7	24.0	24.3	24.2
2011年度	24.7	23.9	24.1	24.4	24.3

③セグメント内シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	62.3	62.2	63.0	63.8	62.8
2010年度	63.6	64.1	63.3	63.5	63.7
2011年度	39.6	58.8	58.5	58.7	54.2

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

①JT メンソール製品市場シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	7.6	7.9	8.0	8.5	8.0
2010年度	8.4	8.0	8.7	8.4	8.3
2011年度	3.2	6.3	6.6	6.9	5.8

②メンソール市場シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	22.6	23.2	23.0	23.5	23.1
2010年度	23.9	23.3	25.7	25.3	24.3
2011年度	26.1	24.2	25.1	25.0	25.1

③セグメント内シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	33.8	34.2	34.7	36.2	34.7
2010年度	35.2	34.1	33.8	33.3	34.2
2011年度	12.4	26.2	26.4	27.5	23.2

3. 四半期別440円以上製品セグメントシェア

①JT 440円以上製品市場シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	5.1	5.0	5.2	5.2	5.1
2010年度	5.1	4.7	17.4	16.7	9.3
2011年度	8.1	15.1	14.9	14.8	13.4

②440円以上市場シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	23.9	23.8	24.1	24.8	24.6
2010年度	24.7	24.4	38.3	37.4	29.4
2011年度	37.6	36.4	37.0	36.6	36.9

③セグメント内シェア (単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	21.3	21.0	21.4	21.1	20.7
2010年度	20.7	19.5	45.5	44.7	29.1
2011年度	21.5	41.3	40.2	40.4	36.2

(注)：2010年10月以前は320円以上

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位:%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2009年度	4.76	4.66	5.25	5.31	5.21
2010年度	10.91	10.47	10.44	11.02	10.70
2011年度	5.41	9.19	9.29	9.9	8.5

* キャスターは2010年4月よりD-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目一覧（2012年4月26日現在）

開発名（一般名など）	開発段階	主な適応症	作用機序/剤形	詳細	権利
JTK-303 (elvitegravir)	国内：申請準備中 (配合錠として)	HIV感染症	インテグラーゼ阻害 /経口	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に 関わる酵素であるインテグラーゼの働 きを阻害する	米国ギリアド・サイエン シス社へ日本を除く全世 界の開発・商業化権を導 出（同社では申請中（配 合錠として））
JTT-705 (dalcetrapib)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレスチリルエ ステル転送蛋白）モジュ レート /経口	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステ ロール）中のコレステロールをLDL（低 密度リポ蛋白：悪玉コレステロール） に転送するCETP活性を調節することによ り、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本 を除く全世界の開発・商 業化権を導出 （同社ではPhase3）
JTT-302	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレスチリルエ ステル転送蛋白）阻害 /経口	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステ ロール）中のコレステロールをLDL（低 密度リポ蛋白：悪玉コレステロール） に転送するCETPを阻害することによ り、血中HDLを増加させる	
JTT-751 (クエン酸第二鉄水 和物)	国内：Phase3	高リン血症	リン吸着剤 /経口	消化管内で食物から遊離するリンを吸 着することで、リンの体内吸収を抑え る	米国ケリックス・バイオ ファーマシューティカル ズ社より日本における開 発・商業化権を導入 （鳥居薬品と共同開発）
JTT-851	国内：Phase2 海外：Phase1	2型糖尿病	GPR40（G蛋白質共役型受 容体）作動 /経口	グルコース依存的にインスリン分泌を 促進し、高血糖を是正する	
JTZ-951	国内：Phase1 海外：Phase1	腎性貧血	HIF-PHD（低酸素誘導因 子-プロリン水酸化酵素 ドメイン含有蛋白）阻害 /経口	HIF-PHDを阻害することにより、造血刺 激ホルモンであるエリスロポエチンの 産生を促し、赤血球を増加させる	
JTE-051	海外：Phase1	自己免疫・ア レルギー疾患	ITK（インターロイキン- 2誘導型T細胞キナーゼ） 阻害/経口	免疫反応に関与しているT細胞を活性化 するシグナルを阻害し、過剰な免疫反 応を抑制する	
JTE-052	国内：Phase1	自己免疫・ア レルギー疾患	JAK（ヤヌスキナーゼ） 阻害/経口	免疫活性化シグナルに関与しているJAK を阻害し、過剰な免疫反応を抑制する	

*開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回（2012年2月6日）公表時からの変更点：

JTE-052の新規臨床入り

JTT-851 国内臨床試験 Phase1からPhase2へ移行

JTT-130 JTK-853の開発中止